

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成26年7月3日(2014.7.3)

【公表番号】特表2013-526357(P2013-526357A)
 【公表日】平成25年6月24日(2013.6.24)
 【年通号数】公開・登録公報2013-033
 【出願番号】特願2013-510608(P2013-510608)
 【国際特許分類】

A 4 7 J 31/44 (2006.01)

【F I】

A 4 7 J 31/44 Z

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成26年5月14日(2014.5.14)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 1 0
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 1 0】

米国特許第 6 , 3 1 8 , 2 4 7 号は、例えば、ホットチョコレートのような攪拌を伴う食品又は熱い飲料調製用機器に関する。その機器は、磁気効果型の攪拌器を駆動する為のシステムを備える。しかしながら、それは、幾つかの不利益を有する。第 1 に、攪拌器により作り出される遠心力効果のため、そのような機器では、液体または泡立ちは、タンクの中心軸に関して同軸状に攪拌され、これが、液体または泡立ちの幾つかの層（特に、周辺の層）が他の層（特に、まん中に近い層）と広範囲に攪拌されない流通を引き起こす。したがって、そのような流通は、十分な品質の泡立ちを製造、或いは、この泡立ちを製造する為に必要な時間を減少させるのに適していない。さらに、機器の構造体は、ミルクベースの液体を扱うのに衛生的ではなく、そのような構造で洗浄するのは容易ではない。多かれ少なかれ同様の不利益を有する他の食製品を攪拌する為の装置が、W O 2 0 0 4 / 0 4 3 2 1 3 又は D E 1 9 6 2 4 6 4 8 に記載されている。

【誤訳訂正 2】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 1 4
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 1 4】

ミルクベースの液体またはミルクから泡立ちを調整する為の改善機器は、W O 2 0 0 6 / 0 5 0 9 0 0 及び W O 2 0 0 8 / 1 4 2 1 5 4 で提案されてきた。その装置は：泡立てられるべき液体を受ける為の内部タンクであって、内部に回転可能な攪拌器が配置されている、内部タンクと；そのタンクを保持する外部スタンドと；内部タンクと外部スタンドとの間に置かれた空洞にある駆動及び制御手段であって、スタンドの外部表面に置かれた電気コネクタ及びスイッチと通信する、駆動及び制御手段と；泡立て中、ミルクの流通を最適化する外乱手段とを有する。

【誤訳訂正 3】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 3 9
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】

【 0 0 3 9 】

本発明の他の態様は、前述したような装置と、飲料製造モジュールとを備える飲料調製機に関する。たとえば、飲料調製モジュールは：カプセル内に含まれる事前に小分けされた原料のような風味付き原料を受ける為のチャンバ及び飲料排出口と；そのような原料を含むチャンバを通して液体を流通させ、飲料排出口を経て注出された風味付き飲料を形成する為の液体流通システムと、を有する。

【 誤訳訂正 4 】

【 訂正対象書類名 】 明細書

【 訂正対象項目名 】 0 0 4 6

【 訂正方法 】 変更

【 訂正の内容 】

【 0 0 4 6 】

機械 1 は、ハウジング 2 に覆われた内部飲料調製モジュールを有する。飲料調製モジュールは、風味付き原料、特に、カプセル内部に、そのようなモジュールへ供給された原料のような事前に小分けされた原料を保持し、それを通して液体を流通させ飲料を形成する為に配置される。

【 誤訳訂正 5 】

【 訂正対象書類名 】 明細書

【 訂正対象項目名 】 0 0 4 9

【 訂正方法 】 変更

【 訂正の内容 】

【 0 0 4 9 】

機械 1 は：例えばカプセル内部の原料をモジュールの中に装着する為の、更に / 又は、そのような原料をモジュールから排出する為の移送位置と；その原料を通して液体を流通させる為の流通位置との間で移動可能なハンドル 1 0 を有する。

【 誤訳訂正 6 】

【 訂正対象書類名 】 明細書

【 訂正対象項目名 】 0 0 5 0

【 訂正方法 】 変更

【 訂正の内容 】

【 0 0 5 0 】

通常、ハンドル 1 0 は：風味付き原料のホルダへの挿入及び / 又は、そこからの原料の排出の為の移送位置から；更に、原料ホルダ内の、この原料を通して液体を流通させて飲料を形成する為の流通位置から；飲料調製モジュールの、淹出ユニットのような、原料用チャンバを備えた原料ホルダを作動させる。原料ホルダ、例えば、淹出ユニットは、相対的に移動可能な 2 つの部品を有してもよく、これらが、原料ホルダを開く為に移送位置へと遠ざけ、原料ホルダを閉じる為に流通位置へと一緒に移動される。流通位置において、原料ホルダは、しっかりと風味付き原料を囲み、原料を通ず液体の適した案内を確実にしてもよい。

【 誤訳訂正 7 】

【 訂正対象書類名 】 明細書

【 訂正対象項目名 】 0 0 5 1

【 訂正方法 】 変更

【 訂正の内容 】

【 0 0 5 1 】

図 2 に例示された流通位置において、ハンドル 1 0 は、機械 1 の最上面 2 a に、或いは、最上面 2 a 内にある。特に、ハンドル 1 0 は、ハウジング 2 と同じ高さにできる。

【 誤訳訂正 8 】

【 訂正対象書類名 】 明細書

【 訂正対象項目名 】 0 0 5 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００５２】

ハンドル１０は、人間工学的な理由、すなわち、ハンドル１０が移送位置から流通位置まで移動されるとき、使用者の手にとって接触面１２の便利な向きによりハンドル１０に手動で力を入れることが容易になるため、末端部で僅かに湾曲または曲げられる直線状の棒のように概略形成された単一アームレバーでもよい。流通位置（図１～図３）において、末端１２を備えたハンドル１０は、ハウジング２と同じ高さでもよく、ハウジング２は、例えば、ハウジング２の表面の洗浄を容易にする為に、対応した形状を有する。

【誤訳訂正９】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００５３

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００５３】

このため、ハンドル１０は、人の手で接触され、駆動されるように駆動部１２が配置され、ハンドルを移送位置と流通位置との間で移動させるが、移送位置において、風味付き原料、例えば、カプセル内に封入されたものは、ハンドル１０の下に置かれた例えば通路（図示せず）を経て飲料調製モジュールの中に挿入され、流通位置において、風味付き原料は飲料調製モジュール内に収容され、そこを通過して液体が流通されて飲料を形成してもよい。

【誤訳訂正１０】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００５６

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００５６】

さらに、機械１は、飲料調製モジュール内の風味付き原料を通した液体の流通を開始する為にユーザーインターフェース２０を含む。ユーザーインターフェース２０は、少量飲料、例えば、エスプレッソを注出する為に第１セクタ２１、大量飲料、例えば、ルンゴを注出する為に第２セクタ２２を含む。

【誤訳訂正１１】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００６７

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００６７】

ハンドル１０及びユーザーインターフェース２０は、人の手が、ハンドル１０を流通位置へと駆動する際に、まだハンドル１０の駆動部１２に接触している間に、ユーザーインターフェース２０が手で操作できるように配置可能である。

【誤訳訂正１２】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００６８

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００６８】

たとえば、人差し指、中指、薬指、小指のうち一つ以上の指で駆動部１２に接触して作動させることができ、まだ他の指がハンドル１０と接触している間に、即ち、ハンドル１０を流通位置へと動かした後にハンドル１０から手を離すことなく、ユーザーインターフェース２０を親指で操作できる。便宜上、駆動部１２は、手で駆動されるように特に適合さ

れた表面又は断面形状を有し、例えば、駆動部 1 2 の表面は、表面構造又は構成要素のような手段、使用者の手に摩擦を与える特にアンチスキッド表面を含んでもよい。

【誤訳訂正 1 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 9】

機械 1 は、飲料を配送する為の排出口 4 がついている前面 2 b を有し、ユーザーインターフェース 2 0 は、前面 2 b に或いは前面 2 b に隣接して置かれる。特に、ユーザーインターフェース 2 0 は、使用者の手が、ハンドル流通位置に達する際、まだ、ハンドル 1 0 の駆動部 1 2 上の位置にある間に簡単にアクセスされるように、駆動部 1 2 の下に置かれる。たとえば、ハンドル 1 0 が流通位置にあるとき、ユーザーインターフェース 2 0 は、2 ~ 4 c m の範囲の距離で、駆動部 1 2 から間隔をあけて配置される。

【誤訳訂正 1 4】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1 4】

飲料調製モジュールを備えた請求項 1 ~ 1 3 のいずれか一項に記載の装置 (3 0) を備える飲料調製機 (1) において、前記モジュールは、飲料排出口 (4) と、カプセル内に含まれる事前に小分けされた原料のような風味付き原料を受ける為のチャンバを有するモジュールと、前記原料を含む前記チャンバを通して液体を流通させ、前記飲料排出口を経て注出される風味付き飲料を形成する為の液体流通システムと、を備える、飲料調製機。